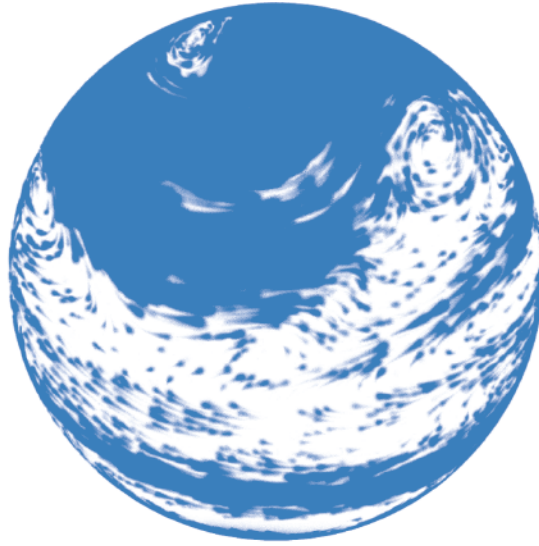


One Earth Guardians 育成プログラム

第6期生募集



ONE EARTH GUARDIANS

地球は2つない。

地球からまなび、
地球を守る

私たちは自分たちの豊かな生活のために、
これまでいっただけだけのダメージを
地球に与え続けてきたのでしょうか。

一〇〇年後、人類が地球上の

あらゆるものと共存していける

世界を作るために必要な人材。

それは一人の天才的な専門家ではありません。

自らも専門家でありながら、

俯瞰的な視点で人を結びつけ、

新しい価値を創造することのできる

「巻き込み力」を持った科学者です。

東京大学大学院農学生命科学研究科ではそれを

「地球医＝One Earth Guardians」や

名づけ、彼らを育成する

プログラムを立ち上げました。

「地球医学＝One Earthology」の誕生です。



www.one-earth-g.a.u-tokyo.ac.jp

One Earth Guardians 育成プログラム

豊かな生活を求める人間の活動は、たったひとつのかけがえのない地球（One Earth）に大きなダメージを与えてきました。「人類の生存のための産業活動」と「環境保全」、矛盾するこれらをどう両立させていくのか。私たちは、生物として100年後の地球に何ができるか。生物の共存共生と利用を目指す「実学」としての「農学」の原点に立ち返り、これらの課題に取り組む「One Earth Guardians(地球医)」を育成するための教育・研究プログラムです。

【アドミッション・ポリシー】

- ・現在の地球が抱える問題に危機意識をもち、その課題解決に取り組む科学者になる熱意を持つ人。
- ・国際感覚を身につけ、他者を尊重しながら連携し、柔軟な思考力をもって課題を解決しようとする意欲を持つ人。
- ・自らの専門性を活かしつつ、同時に広範な学問分野を俯瞰し、サイエンスの相乗効果に結びつける力をもつ人。

【カリキュラム・ポリシー】

以下の3つに分類される科目の履修を通して「持続可能な開発目標(SDGs)」の課題を多面的に理解し、社会全体による課題解決につなげるリーダー、すなわちOne Earth Guardians (地球医)を育成します。

〈基礎地球医学〉

環境・食・生物資源という、互いに密接に関わる農学の課題を俯瞰し、有機的に繋げる基礎力を育む。

〈応用地球医学①〉

農学=実学を体現するため、社会との関わりの中で課題発見力と課題解決力を育む。

〈応用地球医学②〉

地球医学の研究成果を効果的に社会に還元し、社会全体が課題解決に主体的に参加する仕組みにつなげる発信力を育む。

【One Earth Guardians認定要件】

所属する専修・専攻などにおいて卒業・修了に必要なとされる単位の他に、右表に示す必要単位を取得すること。また、プログラムにおいて実施されるLUC Lecture, One Earthology Seminarなどの講義科目以外のアクティビティにも参加すること。

- ・教養学部2年次A1~Wタームに取得する単位(右表中、★の付いた科目が2年次に履修可能)を、認定のための単位に加算することが可能です。
- ・プログラム認定科目の単位は、所属する専修・専攻などの規程に従い、卒業・修了単位に加えることもできます。
- ・プログラム受講にあたっては、大学院進学を想定しています。

【第6期生募集への応募について】

対 象 : 東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部 に所属する学生

他の研究科や学部 に所属する学生および前期教養課程の学生からも募集する*

* One Earth Guardians認定に必要なとされる認定科目の履修条件等については、個別にご相談ください

定 員 : 最大20名

申 請 : 下記URLまたは右のQRコードのページにある「申請フォーム」ボタンより

<https://www.one-earth-g.a.u-tokyo.ac.jp/curriculum/#recruit>

※ 作文(2点)を提出いただきます。

受付期間: 2023年4月3日(月) 午前9時 ~ 4月11日(火) 午後1時

選 考 : 提出された作文による書類選考後、面接を行います。

面接対象者には、個別に連絡します。(面接期間:4月17日(月)~20日(木)の4~6限を予定)

結果通知: 2023年4月20日(木) ~ 21日(金)(予定) に合格者に個別に通知

※ 受講決定者を対象に、4月26日(水)6限にオリエンテーションを行います。

(注) 本プログラムへの受講登録とは別に、UTASでの各講義の履修登録が必要です。



One Earth Guardians 育成プログラム認定科目一覧と必要単位数 (2023.4 現在)

《 》内に示す各科目分類の必要単位数以上の、計28単位以上を取得すること。

ここに挙げられた認定科目は、農学生命科学研究科・農学部所属の学生であることを前提に、同学部・研究科で開講される授業を中心に構成されています。他の研究科や学部および前期教養課程の受講生の方は、個別にご相談ください。

科目分類	科目名	単位数	開講ターム	講義区分
基礎地球医学（総合） 《6単位》	農学現象の数理科学的理解	2	S1SP	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	人口と食糧	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	農学リテラシー	2	W ★	農学共通科目(学)
	農学ライフサイエンス研究倫理	1	S1	研究科共通科目(院)
	生態系の中の人類	1	A1 ★	農学総合科目(学)
基礎地球医学（環境） 《2単位》	土壌圏の科学	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	水の環境科学	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	環境と景観の生物学	1	A1 ★	農学総合科目(学)
	森林環境科学汎論	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	生物多様性科学	2	S1	課程専門科目(学)
	生物海洋学	2	A1A2	課程専門科目(学)
	放射線環境学	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	環境経済学	1	S1	課程専門科目(学)
	環境科学	1	A2	課程専門科目(学)
基礎地球医学（食） 《2単位》	食の安全科学	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	農業資源経済学汎論	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	食と人間 / 食の科学ゼミナールⅠ	2	S1A1	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	食と健康システム演習 / 食の科学ゼミナールⅡ	1	S1SP	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	国際農業と文化ゼミナール	2	SP	研究科共通科目(院)
基礎地球医学（生物資源） 《2単位》	化合物の多様性と生理機能Ⅰ	1	A1 ★	農学総合科目(学)
	化合物の多様性と生理機能Ⅱ	1	A2 ★	農学総合科目(学)
	バイオマス利用学概論	1	A1 ★	農学総合科目(学)
	森林資源と木材利用	1	A2 ★	農学総合科目(学)
	生物素材化学概論	2	A1A2 ★	課程専門科目(学)
	バイオマス利用研究特論Ⅰ	2	S1SP*	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	バイオマス利用研究特論Ⅱ	2	S1SP*	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
基礎地球医学（動物） 《2単位》	動物生理学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	動物生態学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
基礎地球医学（植物） 《2単位》	植物生理学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	植物生態学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
基礎地球医学（微生物） 《2単位》	基礎微生物学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	微生物生理学	1	S1	課程専門科目(学)
	微生物生態学	1	A2	課程専門科目(学)
応用地球医学① 《6単位》	ワン・アソロジーⅠ	2	通年	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	ワン・アソロジーⅡ	2	通年	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	ワン・アソロジーⅢ	2	通年	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
応用地球医学② 《4単位》	サイエンスコミュニケーション	1	W	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	サイエンスコミュニケーション演習	1	SP	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	Basics for Science Communication in English	2	SP	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	Writing a Research Proposal	2	S1SP	研究科共通科目(院)
	Writing a Research Article	2	A1A2	研究科共通科目(院)

★, 農学部における2年次開講科目。農学部進学者は、教養学部2年次A1～Wタームに履修可能。

*, ⅠとⅡを隔年で開講
(学), 学部開講講義
(院), 大学院開講講義

地球医になろう！



説明会を開催します (2回とも基本的に同じ内容です。ご都合のつく回にご参加ください。)

会場参加, オンライン参加いずれも可能なハイブリッド開催です。

会場へお越しいただくか, オンラインの場合はそれぞれの QR コードから Zoom ミーティングに登録してご参加ください。

第1回

3月28日(火)

18:00
▼
19:00

Zoom登録



第2回

4月5日(水)

18:45
▼
19:45

Zoom登録



会場 (2回とも)

弥生キャンパス
弥生講堂アネックス
エンゼル講義室

会場



プログラムにおける活動の例

実学研修

社会とのかかわりの中で学ぶことを通し, 多様な視点を身につけるとともに, 課題を発見する力と, サイエンスを活かした課題解決につなげる力を培うことを目指しています。企業やNPO, 省庁などの様々な現場に一定期間赴き, 実課題に取り組みます。

(応用地球医学①「ワン・アースロジー-I・II・III」において実施します。)

One Earthology Seminar

100年後にどんな地球に生きていきたいかを思い描きながら, そこに向かって私たちは何をしていくかを, 学び, 話し, 考えるOne Earthology 協創の場として開催。学生と教員, 企業等の方が同じテーブルにつきディスカッションを行います。時にトレードオフにもなる多様な視点をふまえ, One Earth Guardiansとしてどんな提案ができるのかを考え, 課題解決に取り組むきっかけとなることを目指します。



問い合わせ先

One Earth Guardians 育成プログラム事務局
E-mail : office@one-earth-g.a.u-tokyo.ac.jp